

「村立幼稚園再編に向けた対応方針」についての説明会

日 時	令和 3 年 6 月 3 日（木）午前 10 時から正午
場 所	東海文化センター（ホール）
出席者	村長，副村長，教育長，福祉部長，子育て支援課長
参加者	36 名

○ 村長挨拶 ○

村立幼稚園再編について、昨年 9 月に村松幼稚園への統合方針を示した際、皆さんから不安や疑問の声をいただき、昨年 10 月 9 日にこの東海文化センターで説明会を開催したが、そのときも厳しいご意見をいただいた。その後、幼稚園再編に向けた課題についてご意見をいただきながら内部でも検討し、4 月 27 日と 30 日には意見交換会を開催した。その際にいただいたご意見を踏まえた最終的な対応方針を今日は説明させていただく。

意見交換会開催後の 5 月 10 日には、石神地区の前自治会長さんと石神幼稚園代表の保護者の方から、1,100 名ほどの石神幼稚園の存続についての署名をいただいた。署名されたすべての方の名前を拝見したが、よく知る方の名前もあり、皆さんが存続を希望していることがひしひしと伝わってきた。署名の提出にいらした方々とも意見交換をしたが、現時点では石神幼稚園も含めて令和 8 年度には村松幼稚園に統合するという方向で進めているところである。

石神幼稚園の良さについてはお聞きしているが、石神地区を含めた各地区で子どもの減少が激しく、これに対応するためには村立幼稚園の統合はやむを得ないと感じている。昨年度の 1 年間の出生数が 230 人、特に昨年度の後半は毎月 20 人を下回るという今までにない状況が続いていた。その状況を今まで放置していたのは村長の責任だというご批判も受けたが、それも含めて今後各地域に活力を残すために、若い方々に住んでもらえるような政策も改めて考えていかなければならないと思っている。

今年の秋には来年度入園の募集が始まるが、来年度入園する方は間違いなく統合の影響を受けるので、できるだけ方針を早めに決めて、その方々により丁寧に対応していくために今日の説明会を設定した。個別の事情については相談窓口を設けているので、そこで事情をお聞きした上で丁寧に対応し、今後は再編の影響を受ける方々をフォローさせていただく。統合が決まった以上、皆さんにできるだけ不安や懸念がないように対応していくのが村の役割だと思っているので、何卒ご理解をいただきたい。

今日も限られた時間ではあるが、説明会の中でのご意見についても十分お答えしていきたい。

○ 「村立幼稚園再編整備に向けた対応方針」説明 ○

<福祉部長>（資料に基づき説明）

○ 質疑応答 ○

<参加者 A>

○先日の意見交換会で、村松幼稚園の大規模改修の費用と、新しく建築した場合の費用の試算を出してもらえないかと話をしたところ、5 月 28 日に追加資料として「村松幼稚園の更新費用比較表」がホームページに

掲載されたが、^{※1} **大規模改修の場合は1㎡あたり33万円**で、総額およそ3億6800万円、建て替えの場合は1㎡あたり32.2万円で、総額およそ6億2100万円。同規模の改修であるのに額が倍近く違っているが、どのような計算となっているのか。

○園舎は同規模で延床面積は一緒であるのに、なぜ金額に差がつくのが分からない。

<福祉部長>

○大規模改修に関しては、総務省の算定基準で計算している。建て替え費用については、近隣市町村の同程度の建築の平均値を活用して算定している。

○現在の村松幼稚園の園舎を大規模改修した場合は3億6800万円。園舎を新たに建て替えた場合、現在と同程度の230名定員である場合は約6億2100万円、規模を縮小し定員を170名と想定した規模である場合は5億4700万円。内容については園舎のみの試算となっている。

○建て替えの場合、現在の村松幼稚園は2階建てであるが、^{※2} **試算は平屋で考えているため面積が増えるということで額が増えている。**

<村長>

○建築担当がおらず申し訳ないが、私が思うには、改修は外装や内装で、基礎はいじらない。建て替えは建築に係るすべての費用が入っている。部分改修は、躯体そのものは変わらず、内装や外装などの一部分になるため、額が少ないと思っている。

<参加者 A>

○村の財政を考えると、原発が60年稼働するとして、あと20年ほどしか猶予がない。火力発電も今は二酸化炭素の排出規制が厳しく、石炭火力であるためいつまで継続できるか分からない。大規模改修で今3億6800万円かけて30年もたせるとしても、30年後には建て替えなければいけなくなると思う。その時、村に建て替える財力はあるのか。

○試算で2億ほどしか違わないのであれば、新しく建て替える考えで、これから幼稚園に入れたいというお母さんたちに「どんな幼稚園がいいですか」という意見交換会をしたほうが喜んで参加してくれると思う。

○30年後、今再編に関わっている職員はほぼ役場から出て行ってしまうと思うが、その頃に幼稚園はどうなってしまうのか。

<村長>

○今は村立幼稚園の再編についての話だが、今の村松幼稚園をいつまで使い続けるのかということは別途政策的な判断が必要となる。公共施設全てに言えることで、そのままずっと長寿命化して使い続けるのか、どこかのタイミングで建て替えるのかという判断がまだ内部できていない。

○今年度、総合管理計画の見直し時期となっており、村の公共施設全般について、政策的判断で「再編や統合で建て替える」、「規模を縮小して建て替える」などを明確に示していく必要があると思っている。これは幼稚園だけの話ではなく、他の公共施設の話でもある。当面は統合という形で進めさせてもらうが、公共施設の総合管理計画について住民の皆さんにきちんと説明する機会を設け、10年先、20年先にどうしていくのかということについては、別途ご意見をいただくような形にしたい。

<参加者 A>

- 村松幼稚園の大規模改修はいつ頃を予定しているか。
- 駐車場整備などに費用を出すのであれば、建て替えに（お金を）使ったほうが有意義なのではないか。

<村長>

- 今のままでいくと、令和 10 年頃が大規模改修の予定となる。
- 今後かかる経費については、もう少し精査した上で考えていく。

.....

<参加者 B>

- 現在、保育士の数は少ない状況と聞く。統合により園児数が多くなるほど、今の各村立幼稚園にいる幼稚園教諭も（村松幼稚園に）集められると思うが、それだけでは足りないのではないか。
- 保育士を確保する目途がたっていないのであれば、今の少ない状況（のまま）で良いのではないか。舟石川幼稚園にはとても良い先生が多く、1 クラス 17 人という少ない人数で手厚く見てくれていると感じる。自分からは相談しづらいことも先生が気付いて声をかけてくれる。これができているのは、少ない人数ならではだと思う。
- 以前、教育長が、「大規模でない」と言ったと聞いたが、教育理念としてたくさんの人数がいたほうが良いという考えは変わっていないのか。

<教育長>

- 子どもの数については、少ない人数でも素晴らしい教育ができるし、むしろそのほうが目が届くのは確かだと思う。しかし、今回の統合に関して言うと、統合による新しい幼稚園の中で、もっと多様な子ども同士のふれあいが増えるのではないか。それこそ新しい大人数での幼稚園の特権であり、それを今までできなかった子どもたちに経験させてあげたいということや、社会性という点ではある程度多用な繋がりが大事ではないかということでの「大人数」と表現させていただいた。決して少ない状況の子どもたちを否定するわけではなく、むしろそれはそれで大事にしたいという思いはある。

<参加者 B>

- 教育長の考えと、私の意見は違うのだと感じた。
- 「発達に課題があるなど、特別な支援を必要とする園児に対し、それぞれの成長・発達に応じた支援を引き続き行っていく」とあるが、それは医師の診断名がついた子に対してということか。医師の診断名がついていなくても、みんなと交流できない子や、難しい子はたくさんいると思う。そのような子すべてに目が行くような体制を整えてもらいたい。
- 今やっているこれ（少ない人数で手厚く見てもらえること）が一番良いと思っている。そういう気持ちの村民がいるということを頭の片隅に置いてほしい。
- 今回のような説明会の機会を設けてもらい、顔を見て直接話が聞けることはとても素晴らしいことだと思うが、「これで決まっているから」と、末端の人が無理やり頑張らめちやくちやになるけど入れて（統合して）みます、という気持ちが否めない。村の未来に関わることなので、保護者以外の意見も聞いてもらえると良い。

<福祉部長>

- 発達に応じた支援については、先ほどの説明のとおり、教育・保育支援員を十分に配置する。また、医師の診断がない場合でも受け入れ、対応させていただく。

<村長>

- 学区ごとに幼稚園があることが東海村の特色だった。この良さを守り切れなかったというところで、村長として反省している。村立幼稚園は統合させていただくが、大きな幼稚園でも一人一人お子さんに目が届くようにするためには、幼稚園教諭や保育士の確保が必要になるので、そこは間違いなく配置していきたいと思っている。
- 保育所でも先生が足りておらず、なかなかうまく機能していないところではあるが、職員の採用も含めて積極的にやっっていこうと思っている。現在の職員の切り捨ては絶対にしない。きちんと対応していく。
- 私もできることなら今の状態を延ばしたい。極端に言えば、複式学級になるまで延ばして、「もうどうしようもないからお手上げで統合します」というほうが分かりやすいとは思う。しかし、そこまで延ばしてしまうと、最後はお子さんにとって急な転園となってしまふ。今回は統合まで少し時間を取ったが、それでも統合に不安を抱える方は多いと思う。この方針を決定するまでは、かなり強引だったと感じる方は多いと思うが、対応方針を決めた以上、どこまで住民の方に寄り添って村として対応できるか、今後は今まで以上に丁寧に対応していく。最大限、皆さんのご意見を尊重してやっていきたい。

.....

<参加者 C>

- 先ほど教育長から「子どもに多様性を学ばせたい」とあったが、それならば村松幼稚園を使い続けるのではなく、幼稚園と保育園の子どもたちが一緒に、多様性を学べるように大きなこども園をひとつ作って建て替えてしまったほうが良いのではないか。
- 保育園に預けたいが満員で入れないという保護者の声を聞いた。私の考えとしては、幼稚園を新しく作るのであれば、幼稚園と保育園の枠を希望者数に応じて柔軟に変えられるような新しいこども園をどこか良い場所に建ててもらえないかと思ったが、そのような考えはあるか。
- 昨年、再編の話を聞いてから、いろいろと個人としてできる限り活動してきたが、こういう形となってしまいとても残念に思う。今後は事前に周知し、村民の意見を反映してほしい。

<教育長>

- 確かに、保育所の子もたちと幼稚園の子もたちが一緒になって学ぶほうが多様性は育めると思うが、新しく建物を建てるということについては別問題で、財政面の状況も含めて改めて建てるということは難しい。統合という中で、それぞれの幼稚園から集まった子どもたちの多様性を活かしていきたいと今のところは考えている。

<村長>

- 村松幼稚園を場所も変えて建て替えるとなった場合、単独の幼稚園で良いのかということはあるかもしれない。役場の隣の「けやきの杜保育所」は暫定としている。今は保育所ニーズが高いが、昨年度の出生者数が230人ということは、いずれ保育所の児童も減り、どこかで保育所も再編が必要になってくる。村立の保育所は百塚、舟石川、けやきの杜の3つがあり、それをまた統合するとなった場合、幼稚園と保育所を別々に建て替えるのか、となったときには、併せて一つにするということも選択肢としてはあると思う。

- 今後子どもの数が減っていくことを是としてはいない。子どもの数が増えてくれればこども園とせずに幼稚園として残すこともあるし、今後どれだけ子どもが生まれるのかといった推計はなかなか難しいが、そこは10年くらいを見据えた上で議論していく必要があると思う。いろんな選択肢があると思うので、今後公共施設全体を見直す中でも、村が推計で考えていることを皆さんにも情報提供しながら、ご意見を伺って最終的に判断したい。
- 不安や疑問を残したまま、このような形で進めてしまったことは改めて申し訳なく思っている。今後このようなことが起こらないように、しっかりと皆さんに事前にお話をしながら進めていきたい。

.....

<参加者 D>

- （「村松幼稚園の更新費用比較表」の大規模改修と建て替え費用の）金額が倍になった理由が全く分からない。大規模改修は躯体そのままのことだが、一体何をするのかというのもよく分からない。
- 建て替えではなく大規模改修を進めたいから、「大規模改修のほうが安く、建て替えの方が高い」という金額の乖離を作ろうとしている。わざわざ平屋の予算がかかるほうを提示するのではなく、どうして2階建てで予算がかからないほうの金額を提示してくれないのか。
- 村の年間財政の1～2%の話で微々たる金額だと言うかもしれないが、一個人からすれば2億や3億という金額は大きなお金だと思ってしまう。2億円の差額がなぜ出たのか、もう一度きちんと説明してほしい。

<福祉部長>

- 公共施設等総合管理計画に基づいて、適切なタイミングで長寿命化を図るということを原則に進んできており、施設に関しては建築後70年を使用するという考えとなっている。その中で、大規模改修で現状維持をした場合3億6800万円となった。

<村長>

- 私が考えるに、建物をもたせるため、傷む前に適切な改修をして、できるだけ長く使うという方法が一番お金のからない方法。何年かに一度は外壁を変えるような大規模の改修をしないとたないだろうが、真ん中のコンクリートだけは変える必要はないと思うので、その費用には3億くらいかかる。しかし、建て替えは更地に基礎を作ってコンクリートを打ち上げて、躯体をちゃんと作るための経費も入ってくるので金額がかかる。
- 改修のほうが安いのは当然で、現在の東海村公共施設等総合管理計画では、なるべく使えるものはギリギリまで使うこととしており、通常60年と言われているものを10年延長して使うことで、単純に割り返すと年平均の費用が抑えられるので、これは財政的な意味合いから計算している。
- 村松幼稚園をあと何年使うのかということについては、まだ議論できていないので、今は村の公共施設全般の方針に沿った改修の場合であれば、これだけかかるということを示している。全て取り壊して、現在の場所で建て替えか、新たな場所での建て替えかで用地費も変わり、総事業費も変わってくるが、単に建物だけ見れば、当然建て替えのほうはお金がかかるということはやむを得ない。意見交換会でのご質問は、「大規模改修と建て替えの費用の違い」ということだったので、単純に比較した数字として「村松幼稚園の更新費用比較表」を示した。

<参加者 D>

- もしも、大規模改修が1㎡当たり33万円、近隣類似施設の建築費用が1㎡当たり65万円という数字

だったら（総額に差が出てしまうのは）分かるが、村が提示した費用は、建て替えの（1㎡当たりの金額の）ほうが安いのに総額は倍くらいかかっている。用地取得費や造成費等は含まないと書いてあるのに、一体何にプラス 2 億円かかってくるのか。なぜ同じ規模の建物の建て替えと改修で、倍の額になっているのか私には分からない。

<福祉部長>

- 大規模改修に関しては、建て替えと違い傷んでいる所など必要な部分となる。建て替えに関しては、全部取り払って基礎から立ち上げるということで、改修と建て替えで手を入れる面積が違う。そこから金額も変わってくる。

<参加者 D>

- 部分改修は村長が言っていたようなちょっとしたほころびを都度直していく改修だと思うが、大規模改修というのはどういった改修のことを言うのか。建築用語や村の考えでもいいが、何をもってして大規模改修なのか。

<福祉部長>

- 部分改修（補修）は玄関や水回りなど傷んでいる部分の補修であり、大規模改修となると施設を運営する上での基本となる、例えば電気や空調設備など、運営で重要となるところの改修となっている。

<参加者 D>

- 改修が良いのか新しく建て替えたほうが良いのかというのは、私が出す答えではないとは思っているが、このような形で「村松幼稚園の更新費用比較表」を出すのであれば、部分改修の費用も当然載せるべき。部分改修で何年くらいかのペースで改修し、さらに（部分改修費用を含めた）大規模改修での総額と、建て替え費用を比較してもらわないと、本来の更新費用比較表とはいえないと思う。これは、どちらが幼児教育にとって必要なのかという問題と同時に、税金をどのように使うかということにも関わってくると思う。幼稚園の建て替えを断念させるための数字のマジックをあまり使わずに、きちんとした資料を出してほしい。
- 部分改修でどれだけかかってきており、それに対して大規模改修を何年くらいで行って 3 億 6800 万円かかるのか、合算した上で（改めて）比較表を出してもらえないか。

<村長>

- もっと細かいデータがたくさんあったが、あまりにも数字が細かいので一番分かりやすいところを今回抜き出してしまった。今までかかった経費までを入れることができるかは分からないが、期間を設けた数字を改めて公表する。

.....

<参加者 E>

- 今回の幼稚園の再編とは直接的な話ではなくなってしまうかもしれないが、以前保育園でも無償化の話があったが、それはもうなくなってしまったということで間違いないか。
- 保育園に申し込もうと思いきや点数票を書いてみたが、優先されないだろうと感じる点数の低さだった。個人的な体力や家庭の状況などに応じた働き方があると思うが、保育園の枠を増やして待機児童をなくしたり、料金を下げて安くしたりするなど、何か母親が働きやすい制度を考えているか。

<村長>

- 幼児教育の無償化については、3歳以降であれば幼稚園でも保育所でも無償化となっている。しかし、0～2歳については保育料を取っている。国で全てを無償化にするには財源的にも難しく、それをどうするのかということについては市町村の判断となるが、今は村での無償化は考えていない。
- 若い世代の方の働き方も変わってきて、今後どのようなニーズが出てくるか。保育所の受け入れ環境を変えることも大事だが、経済的支援としてさらに保育料の無償化までするのかということについては、新たな政策判断になると思う。保育料や給食費などを無料としている自治体もたくさんあるが、当然ながら対象者数により財政的には負担となってくる。今のところ国を飛び越えて実施することは考えていないが、今後の検討課題ではあると思う。

.....

<参加者 F>

- 再編については、何度か地区自治会でも説明してもらったが、今回の説明会が終わった後も（各自治会への）説明は行われるのか。
- 先ほどの質問にあった建て替えの件で、（手を入れる面積は）建て替えの場合は100%、改修の場合は50～60%かと思う。100㎡の建て替えであれば、改修は50㎡で済むかもしれない。ただし、もともとの建物をいかしながら行うので、養生などが必要になり単価が高くなるということで、総額は当然変わってくるのだと理解しているが、その考え方で間違っていないか。

<村長>

- 自治会などへの説明は、今は考えていない。今後は再編に伴って影響を受けるであろう保護者の方々を優先的に、できるだけ個別に対応していくことを考えている。今回の説明会を最後にして、これからは村民全体に今回説明した対応方針や、広報誌などを通して知らせていくこととしたい。
- 最終的に広報誌やホームページに公表されて、そこでまたいろんなご意見が出てくると思うので、それについてはきちんと受け止めていきたい。今日のように会場を設けた説明会は、地域や自治会の方へ向けには今のところ考えていないので、ご了承いただきたい。
- 「村松幼稚園の更新費用比較表」については、建築担当へ確認した上で村公式ホームページに公表するので、そちらを見ていただきたい。

.....

<参加者 G>

- この村立幼稚園の再編整備について、村民の方々はどのように言っているのか。私たち子育て世代の意見を聞く機会はあるが、自治会や近所の年配の方から意見を聞く機会が全くない。未来を担っていく子どもたちであり、多分東海村にずっと住むと思うので、その時に子どもがたくさんいたほうが村は活気づくと思う。ママ世代の他に、祖父母世代からは幼稚園が近所からなくなってしまうことに対して意見は出ていないのか。
- 自分の近所に頼れるところがあるほうが良いので、私たちは村内に幼稚園が2園と少なくなるよりは、幼稚園が今のまま（存続して）いろんなところにあったほうが良い。幼稚園が減ることで村の活気がなくなってしまうのではないかと不安である。

<福祉部長>

- これまでも、意見交換会やその後の村ホームページのご意見フォーム等から、今日ご説明した再編の入園先や交通手段などに対するご意見をいただいていた。意見交換会での説明の基本的な部分は、今日説明した内容とほぼ変わらないが、とうかい村松宿こども園の学区外入園の希望順について、今回の再編に伴い転園しなければならない園児に優先枠を設けてほしいという意見があったので、そのご意見を受けて、今後の対応をするという形にさせていただいている。その他については、対応方針の変更に繋がるご意見はなかった。

<村長>

- 冒頭でも私から説明したが、石神地区では明確に、意見交換会でも自治会の関係者の方々から「なぜ残せないのか」、「そもそもなぜ再編するのか」という話はあった。その時も私からお答えしたが、子どもがいなくなってきており、幼稚園を単独では残せないことや、建て替えの問題もあったため、もし石神小学校の空き教室でも使えれば経費的にもかからず上手いくのではないかと思っただが、石神小学校も児童数は減っているが、小学校でも少人数学級が進んでいるので、教室は空かないということで、物理的に難しいということになった。
- 「幼稚園として無理なら保育所でも何でもいいから残してくれ」という話も出た。地域に子どもの声が響いていないと不安だという声は確かに受けている。気持ちはよく分かるが、単純に幼稚園を保育所にするというわけにもいかない。石神幼稚園は学区内の入園者数が減ってきて、学区外から登園している子もいるが、学区外のお子さんは、小学校は自分の学区の小学校へ戻ってしまうので、地域のお子さんが地域の幼稚園に一定程度入るといことが続いていかないと、残すことが難しいという話をした。しかし、それでも残してほしいという思いがあり、それが1,100名以上の署名を持ってこられた表れだと思っている。
- 石神幼稚園だけでなく、須和間幼稚園や舟石川幼稚園周辺の地域の人に聞けば、残せるものなら残してくれというのが一番強いと思う。今の段階で幼稚園を残したい気持ちは分かるが、村を運営していく関係上、再編せざるを得ないところをご説明してきた。どれだけの方が納得されているのかは定かではないが、こちらの考え方も一定程度は理解していただけたらと思う。しかし、不満だという方も一定程度いらっしゃることも間違いない。いずれにしても、全員が納得することは難しいと思うが、できるだけ多くの方から理解を得ながら、今後は丁寧に進めていきたいと思っているので、ご理解いただきたい。

.....

<参加者 H>

- 「地域の子どもが一定数通わないとその幼稚園を残す意味がない」と言ったが、村松幼稚園 1 園にして、地域外の子どもを一つの園に統合させようとしている村が、その地域以外の子どもが幼稚園に来るのは意味がないと言っているところに矛盾を感じる。「学区内の子どもが一定数来ないと存続させることができない」という理由は何なのか。
- 石神地区で 1,000 名を超える署名が集まったとのことだが、一体どのくらいの署名が集まれば幼稚園を残せるのか。少なくとも石神幼稚園は、統合時期が差し迫っているわけではないので、まだまだ検討の余地があるかと思う。
- 5 年後に東海村の中に幼稚園が 2 つだけになってしまうよりは、(統合の) 順番によっては不公平性が出て村民同士が揉めてしまうかもしれないが、いきなり公立幼稚園を一つにするのではなく、少しずつ減らしていくという方法もあったと思う。再編時期が遅い石神地区でそこまで「残してほしい」という声が挙がっているのであれば、

検討の余地はあるのではないかと思うが、村の方針としてどうなのか。

<村長>

- 「学区外の子どもは地域の子どもではない」というつもりで言ったのではない。地域に必要な幼稚園として残すには地域のお子さんが入ることが理想だと思うが、学区外から通って幼稚園の規模を維持するという意味では、学区外で入る意味はある。しかし、その後の幼小連携を特に意識するのであれば、幼小連携はそのまま同じ小学校に上がることが一番の連携になる。学区外を増やすよりも、保育所に通っている子どもたちを含めた学区に住んでいる子どもたちの保幼小連携のほうが必要かと私は思っている。
- 石神幼稚園の統合時期はずれるが、統合という方針は変えていない。石神幼稚園は、学区外の園児を受け入れるということをいち早く始め、給食の提供や預かり保育など、受け入れ環境を先行して工夫しており、その成果も一部出ているので、それを継続しているところではある。だからといって石神幼稚園が今のままで残せるかという、ゆくゆくは園舎の改築が課題になってくる。総合的に判断すると、石神幼稚園がどのくらいの規模になれば残せるのかということについては検討していない。署名がどれだけ集まったら残せるのかということについては基準がないので、あくまでも現状や今後の推移を見ていくと言しかないが、今の状況で石神幼稚園を残すという決断をするのは困難だと思っている。

<参加者 H>

- 石神小学校区に住んでいるわけではないので、石神幼稚園の存続に関しては石神地区の方が村と今後協議していく話かと思うが、村松幼稚園 1 つにして舟石川幼稚園や須和間幼稚園に通っている幼児の幼小連携を崩しておいて、「石神幼稚園の学区外が来ることで、学区外の子は石神小学校には上がらないから幼小連携が取れない」というのは、恐らく村民が納得できる理由ではないと思う。

.....

<参加者 I>

- とうかい村松宿こども園の学区外入園枠の拡大は、いろいろと要望があって実現させたという話があったが、そもその幼稚園枠の拡大はしないのか。
- 以前、請願書を出した際、各中学校区に幼稚園を残すという要望を出したが、「とうかい村松宿こども園があるから、幼稚園枠を拡大することで対応できるので、村松幼稚園に集約することで良い」と、当時の子育て支援課長に言われた。議事録に残っていると思うが「保育園枠を減少させてでも、幼稚園枠を拡大できる」と言った。そのことはちゃんと検討されているのか。とうかい村松宿こども園に入れたいという方が多いのであれば、ぜひ検討してもらわないと困る。

<福祉部長>

- とうかい村松宿こども園に関しては、幼稚園枠が 40 人、保育所枠が 100 人という基準で運営している。その中で、幼稚園枠を 40 人から 60 人に増やすとすると、全体の定員は決まっているので、保育所枠は 80 人になってしまう。現状でも保育所になかなか入れないという状況があるので、今の幼稚園枠 40 人と、保育所枠 100 人はキープしていきたい。
- 先ほどご説明したとおり、幼稚園枠 40 人というところについては、今までは学区内の照沼学区を優先して枠を取っていたが、今のところ照沼学区から入ってくる人数が非常に少ないということで、学区内の入園者数を差

し引いた部分をすべて学区外の定員として対応していく。

<参加者 I>

- 文教厚生委員会では、東海南中学区と東海中学校区とで幼稚園を1つずつ残すということは、「（東海南中学校区には）とうかい村松宿こども園があるから意味がない」と課長が言っていた。議員さんのほうから、「保育所ニーズが高いのに、幼稚園枠を増やして保育所枠を減少させることはできるのか」と聞いたら、「できる」と言った。それで請願をつぐされている。

<福祉部長>

- 先ほどの説明のような形で取り組んでいきたいと思っている。

<村長>

- 幼稚園枠40人・保育所枠100人という枠は今のところ変えない。保育所ニーズがどう変わっていくのかによる。そこがある程度受け入れができていれば、幼稚園枠50人・保育所枠90人などに定員を変更することもなくはないが、当面はできないだろう。
- 最終的に令和8年度に、村松幼稚園に統合するまであと5年ほどあるので、この5年くらいの間で児童数がどう変わっていくのか、私立保育園や公立保育所、私立のこども園など、いろんな受け皿があるので、その推移によっては（保育所のニーズが減れば、幼稚園枠の拡大の）可能性はないとは言えないが、今すぐやりますということとはできない。選択肢として可能性はある、という程度でしか言えない。

.....

<参加者 J>

- 自治会への個別の説明はないとのことだが、今回のように保護者を集めた全体の意見交換会は今後どうなるのか。
- ネットやアンケートなどで意見を集めるような状況は続けながら、毎月一回とは言わないが、今回のように皆さんの意見を直に聞く機会は定期的には開くことを検討してもらえないか。

<村長>

- 今回のように皆さんに集まってもらうような説明会は、今のところ予定していない。細かい課題は残っているが、それについてはいろいろな広報手段で引き続きお伝えする。
- ご要望としては受け止めるが、今やりますとは言えない。状況が変わったときや、新たなことをお伝えすることができれば説明する機会は必要だと思うが、現時点では考えていないということでご理解いただきたい。

.....

<参加者 K>

- 資料の12ページの「今後の協議・検討事項」には、まだ検討が進んでいない事項が書かれている。ワーキング・チーム会議で話し合われるのだと思うが、協議内容がホームページに掲載された時点でネットから意見を送れるような仕組みとする予定はあるか。
- 「今後の協議・検討事項」は、とても重要な部分をこれから検討されていくと思う。保護者の立場で意見を出し

ていきたいので、そのような（ネットから意見を送れるような）仕組みをお願いしたい。

<福祉部長>

- 対応方針の中でも具体的になっていないところがあるので、 村立幼稚園職員等ワーキング・チーム会議で十分に検討を重ねていく。また、 いただいたご意見を考慮しながら、 丁寧な情報提供に努めていく。

.....

<参加者 L>

- 歴史と未来の交流館の運営費用と比較して、 石神・舟石川・須和間の 3 幼稚園の運営費用を縮小すること
でどれだけ経済効果があるのか。
- 統合した場合、 石神・舟石川・須和間の 3 幼稚園に関わる教職員は、 村松幼稚園に全部集約するのか、
あるいは部分的に減らすのか。
- 石神幼稚園が古くなり、 お金がかかるので建て替えはできないということであれば、 それほどお金がかからないプ
レハブなどで対応すれば、 時代（の流れ）によって（定員を）増やしたり減らしたりといった柔軟な対応もでき
るのではないか。
- （常陸太田市の）里美では、 保育園・幼稚園・小学校・中学校が同じ敷地の中で運営されている。そのよう
なことも考えて、 モデルとしてひとつ作ってみてはどうか。

<福祉部長>

- 石神・舟石川・須和間の 3 幼稚園の運営費用と、 歴史と未来の交流館の運営費用の比較に関しては、 後
ほど村公式ホームページ等で示す。
- 教職員に関しては、 辞めさせるということは絶対はない。村内には保育所などがあるので、 人事異動も含めて
教職員にはこれからも働いていただくことを約束する。
- 石神幼稚園について、 建て替えやプレハブといった意見もあるが、 これまでも申し上げたとおり、 石神幼稚園の
園児数が減ってきていることや、 今後の維持等も考えて、 村松幼稚園への統合としているので、 村としてはこ
の対応方針で今後とも進めるというところである。

.....

<参加者 M>

- 統合後の先生の人事配置について、 今まで舟石川幼稚園、 須和間幼稚園、 石神幼稚園にいた先生は、
統合後は全員が村松幼稚園に異動するのではなく、 異動する先生もいれば、 他の保育園やこども園に異動
する（先生もいる）ということか。

<村長>

- 先生と児童と一緒に転園することが一番良いと思う。それが担任の先生だけなのか、 周りの先生もなのかは分
からないが、 よく知った先生が統合先の村松幼稚園にいるということについては最大限に対応する。あくまでも子
どもに転園による影響が出ないように、 先生も一緒にということは考えているが、 一緒に転園する先生が全員
なのか、 一部なのかというところは今後検討する。

<参加者 M>

- 今後の統廃合までの数年間で、公立幼稚園を選択してくれるお母さんや園児はどれくらいになるのか。小さな子どもを抱えたお母さんと話すと、転園は精神的、肉体的、時間的にも負担が大きく、公立幼稚園に行かせようと思っていたが、転園させたくないから公立には行かせないと言っているお母さんがとても多い。働いて保育園に入れるとか、とりあえず学区外でこども園の抽選を受けて（入園できなかった場合は）私立の幼稚園にするなど、転園は避けたいと言っているお母さんは大勢いる。
- 園児数がすごい勢いで減少していくということは、想像に難くない。その結果、先生も今後何人になっていくのかも読めないところだが、廃園時にその幼稚園にいた先生が、少人数で目の行き届く幼児教育をするのに必要な人数だと思う。園長先生は園が一つになれば一人で良いと思うが、その（統合）時点で教育に携わっていたクラス担任や副担任の先生、フリーの先生は、公立幼稚園の教育に必要とされていた人数だと思う。村松幼稚園の園児数の規模自体は、それまでの公立幼稚園に通っていた園児数（の合計）と変わらないわけなので、その先生全員が村松幼稚園と一緒に転園にならないと、目の届く範囲は減ってしまうのではないかと、その点は配慮してもらえるのか。

<村長>

- いろんな懸念はあると思うが、現場の先生が一番分かっていると思う。人事政策上、私も最終的には判断するが、あくまでも現場の先生がどのように感じて、どうしたら子どもたちにとって良い環境になるのか、そこを最優先に考えていく。保護者の方の懸念もあると思うが、まずは幼稚園の先生たちの意見を尊重してやっていくので、そこは心配しなくて大丈夫だと思っている。

<参加者 M>

- 須和間幼稚園は年少が減ってしまい、10人に対して担任と副担任が3人ついている。もちろん学年によってまちまちで、20人近くいても1人（の先生）で大丈夫だったクラスもあれば、子ども10人に対して、保育園並みに園児数1～2人に対して先生1人というような大変な年もあると思う。
- 園活動が始まってみないと先生にも分からない部分はあると思うので、先生に負担のないようにしてほしい。
- 特に公立幼稚園に入れた保護者は、少人数できめ細やかに見てもらいたいという思いで入れている人が多いので、先生1人に対しての教育の人数を、文部科学省で決まっている人数ではなく、今までの東海村の良さを残して、先生方をできるだけたくさん配置し、クラスの中が密になってしまっても大変だと思うが、きめ細かく見てもらえるように配慮いただければと思う。

<村長>

- 今後、保護者の皆様からの個別相談の対応を徹底し、どのようなところで悩んでいるのか聞いた上で、丁寧にアドバイスをしていく。
- 現場の先生の状況についても、入園してくる子どもによって変わってくると思う。村松幼稚園は大きな幼稚園なので、クラス担任は離れるとしても多くの先生がいるので、園全体の中でサポートできるときもあるだろう。いずれにしても幼稚園の統合は初めての経験なので、この統合でどのような影響が出て、どういう対応が必要か、どのくらいの先生が必要かということについては、現場の先生の声を大切にしながら進めていくので、ご理解いただきたい。

訂正

質疑応答内の下線部 2 か所について誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

※1

(誤) 大規模改修の場合は 1 m²あたり 33 万円

(正) 大規模改修の場合は 1 m²あたり 18.7 万円

※詳細については、下記リンク（村公式ホームページ）に掲載されている「（追加資料）村松幼稚園の更新費用比較表」からご確認ください。

[「村立幼稚園再編に向けた対応方針（案）」に対する意見交換会（令和 3 年 4 月）](#)

※2

(誤) 試算は平屋で考えているため面積が増えるということで額が増えている。

(正) 延床面積からの試算であり、建築階数による金額の考慮はしていない。

以上